



令和 7 年 1 0 月 2 日
環境生活部スポーツ・文化局
生涯スポーツ振興課
043-223-2434

熊谷千葉県知事と千葉聾学校の皆さんによる 東京 2025 デフリンピック応援 手話言語メッセージを配信します

令和 7 年 1 1 月 1 5 日に開幕となる「東京 2025 デフリンピック」まで、残り 1 月半を切ったことから、開催機運の更なる向上を目的に、熊谷知事と千葉聾学校の児童・生徒によるデフリンピックの応援メッセージを作成し、YouTube「千葉県公式 PR チャンネル」で配信を開始しました。

今後、県や市町村、千葉県聴覚障害者協会等が実施する啓発イベント等で活用します。

1 熊谷千葉県知事と千葉聾学校の皆さんによる 東京 2025 デフリンピック応援手話言語メッセージ

千葉県公式 PR チャンネルに掲載

<https://youtu.be/atzBCNkmZxs>

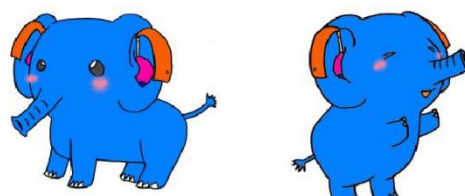
(10月2日から配信開始)



2 千葉県立千葉聾学校について

昭和 6 年に開校し、今年度で 94 周年を迎える本県唯一の聴覚障害教育単独の県立特別支援学校。在籍者数は、幼稚部 18 名、小学部 33 名、中学部 16 名、高等部 33 名、高等部専攻科 2 名の計 102 名（令和 7 年 5 月 1 日現在）。

東京 2025 デフリンピックの開催に向け、校内に「デフリンピック推進委員会」を設置し、推進委員を中心にこれまで、「オリジナル応援キャラクター ミミゾウ君」の製作、「応援手話ソング（勇気 100%）」の選定のほか、令和 7 年 6 月 25 日には、デフ卓球・デフ陸上出場選手の壮行会を行うなど、デフリンピックの盛り上げに取り組んできた。今回の手話メッセージ動画には、この推進委員の中から、小学部 2 名、中学部 2 名、高等部 2 名の児童及び生徒が参加した。



東京 2025 デフリンピック

千葉聾学校オリジナル応援キャラクター 『ミミゾウ君』

3 今後の県内のデフリンピック啓発イベントについて（予告）

デフスポーツの啓発及び「東京 2025 デフリンピック」開催機運の向上を目的に、全国を巡回しているキャラバンカー（全日本ろうあ連盟及び各都道府県聴覚障害者の団体等が主催）が、10月19日（日）から26日（日）まで千葉県内を巡回。22日（水）には千葉県庁を訪問し「キャラバンカー来県セレモニー」を開催する。

※ 詳細が決定し次第、後日改めて報道発表予定。

【参考】「東京 2025 デフリンピック」について

正式名称：第25回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025

大会期間：令和7年11月15日～26日（12日間）

参加国：70～80か国・地域

参加者数：各国選手団等：約6,000人

（選手約3,000人、ICSD 役員・SD・審判・スタッフ約3,000人）

競技数：21競技

（陸上、バドミントン、バスケットボール、ビーチバレーボール、ボウリング、自転車（ロード・マウンテンバイク）、サッカー、ゴルフ、ハンドボール、柔道、空手、オリエンテーリング、射撃、水泳、卓球、テコンドー、テニス、バレーボール、レスリング（フリースタイル・グレコローマン））

以上、大会公式 HP (<https://deaflympics2025-games.jp/#gsc.tab=0>) より